



現代の青年は須く眞剣なれ

(十二月二十四日夜於好問村補習學校) 前 松 佐 嘉

支那の哲學者朱子は「陽がすく和尙も根盡き力抜... 氣の發する所金石もまた透け筆を投じて大隨の酷なる... 精神一たび到らば何事か感懐を懐つたのであります...

潮聲視静抄帳

潮聲(松ヶ岡公園) 鹿野(松ヶ岡公園) 秋の風物(五句吟) 北窓

喫茶店

土屋 龍二 ナイダーの泡立つ歡喜 紅茶の憂鬱 角砂糖は投身する スプーンは義理で池底を 探索する

川べり

保の並木は根本から二つ 百鬼夜行の猿轡な顔つきし

市 轉換期の都

中野 時 雄

教育は無力であるか。我々はこの奔流の如き時潮の上... 上に立つて、時々をうした... 疑念に陥る事がないであらうか...

講 談

山 の 怪 秘

戸隠(74) 丸山寛雄作 眞木浪齋 ちやら銀騒動(三) 只今、表へ、一揆が押寄せたので御座います。西山の百姓共かと存じます。...

行役日七十二月二十 (刊休日翌日祭際日)

に割れてる 彼の分身は道の上に寝ころんで 頭を白壁に凭せる 意気な兵士たち 私歩くも彼等は順々に 暴風の如く...

社會の今日

大箱のいまだおぼろげな 萬兩の、實も色づかず 年くればとす 辻村 直 地に零れし萬年青の珠 や掃納め 呂 柚

講 談

山 の 怪 秘 (74) 丸山寛雄作 眞木浪齋 ちやら銀騒動(三) 只今、表へ、一揆が押寄せたので御座います。西山の百姓共かと存じます。...

講 談

山 の 怪 秘 (74) 丸山寛雄作 眞木浪齋 ちやら銀騒動(三) 只今、表へ、一揆が押寄せたので御座います。西山の百姓共かと存じます。...

講 談

山 の 怪 秘 (74) 丸山寛雄作 眞木浪齋 ちやら銀騒動(三) 只今、表へ、一揆が押寄せたので御座います。西山の百姓共かと存じます。...

講 談

山 の 怪 秘 (74) 丸山寛雄作 眞木浪齋 ちやら銀騒動(三) 只今、表へ、一揆が押寄せたので御座います。西山の百姓共かと存じます。...

講 談

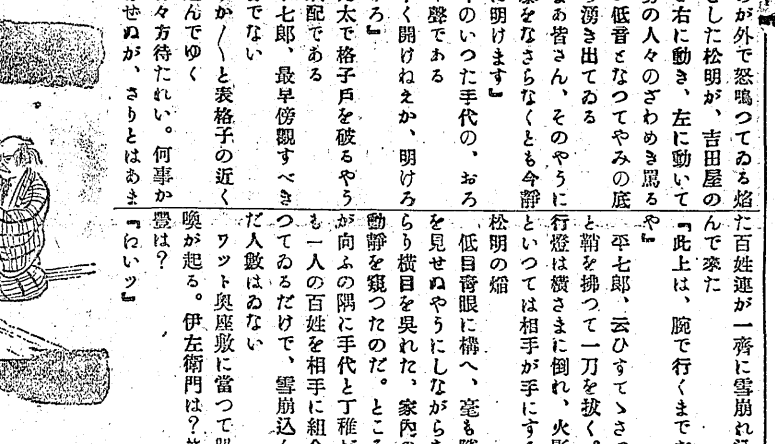
山 の 怪 秘 (74) 丸山寛雄作 眞木浪齋 ちやら銀騒動(三) 只今、表へ、一揆が押寄せたので御座います。西山の百姓共かと存じます。...

講 談

山 の 怪 秘 (74) 丸山寛雄作 眞木浪齋 ちやら銀騒動(三) 只今、表へ、一揆が押寄せたので御座います。西山の百姓共かと存じます。...

講 談

山 の 怪 秘 (74) 丸山寛雄作 眞木浪齋 ちやら銀騒動(三) 只今、表へ、一揆が押寄せたので御座います。西山の百姓共かと存じます。...



山 の 怪 秘

戸隠(74) 丸山寛雄作 眞木浪齋 ちやら銀騒動(三) 只今、表へ、一揆が押寄せたので御座います。西山の百姓共かと存じます。...

講 談

山 の 怪 秘 (74) 丸山寛雄作 眞木浪齋 ちやら銀騒動(三) 只今、表へ、一揆が押寄せたので御座います。西山の百姓共かと存じます。...

講 談

山 の 怪 秘 (74) 丸山寛雄作 眞木浪齋 ちやら銀騒動(三) 只今、表へ、一揆が押寄せたので御座います。西山の百姓共かと存じます。...

講 談

山 の 怪 秘 (74) 丸山寛雄作 眞木浪齋 ちやら銀騒動(三) 只今、表へ、一揆が押寄せたので御座います。西山の百姓共かと存じます。...

講 談

山 の 怪 秘 (74) 丸山寛雄作 眞木浪齋 ちやら銀騒動(三) 只今、表へ、一揆が押寄せたので御座います。西山の百姓共かと存じます。...

講 談

山 の 怪 秘 (74) 丸山寛雄作 眞木浪齋 ちやら銀騒動(三) 只今、表へ、一揆が押寄せたので御座います。西山の百姓共かと存じます。...

最新型多數入荷 御用命は是非フタバ 平.新川町.月見橋際 電話三〇一

前田醫院

院長 前田清美 植田町電話二二四

美味で評判の

イワキサロン 平町電話三五二

磐城名物

靈峰羊羹 小川郷齋前 平屋賣店

開店三週年記念

景品付大賣出し 自十二月二十三ヨリ 至一月三日マデ

古山電氣商會

平町警察署通り(呼電)一六六

開業

専門耳鼻咽喉科 高柳耳鼻喉科醫院 平町警察署(電話三三六)

開業

友部株式會社 平町三丁目 電話一七七番

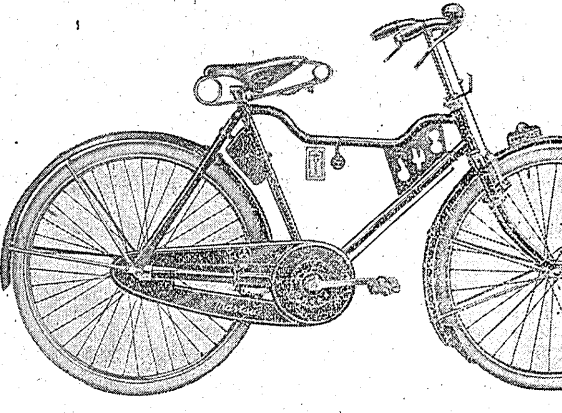
開業

郡山脳病院 郡山市外大槻村針生 電話九二五番

開業

友部株式會社 平町三丁目 電話一七七番

最新型多數入荷 御用命は是非フタバ



フタバ商會

平.新川町.月見橋際 電話三〇一

安齊外科醫院

平町町赤心堂病院隣(電話四七五番) 入院隨意 自放の便あり

精神科

脳脊髄病科 神経病科 郡山外大槻村針生 電話九二五番

郡山脳病院

郡山市外大槻村針生 電話九二五番

開業

友部株式會社 平町三丁目 電話一七七番

開業

友部株式會社 平町三丁目 電話一七七番

開業

友部株式會社 平町三丁目 電話一七七番

開業

友部株式會社 平町三丁目 電話一七七番

開業

友部株式會社 平町三丁目 電話一七七番

産科 婦人科 午後診 午後診 午後診 午後診

難波醫院 内科 小兒科 入院隨意 自放の便あり

木村外科醫院 平町六丁目(橋際) 入院隨意

ルマノヒ 魚凍 國は日本。凍魚はヒノマル

高久病院 平町田町 (電話五三二番) 新調製士高赤高

磐城家庭婦人會 皆様の御手不足を補ふ家庭婦人會が出来ました

會員募集 平町三丁目 電話一七七番

何等の曲折も無しに 施行調査委員会機構成る

堂々の顔ぶれて人選無難

平町本年年度の町会は昨二
十六日午後二時から開き青
沼町長の年末慰勞金五百圓
其他既報の件を附録し、急
々から着手する市制施行
行調査委員として一般より
十名を推薦左記の通り夫々
部務を決定(○印一般例)

(財政部) 井上茂作、川崎
文治、猪狩親徳、吉田五
平、佐藤幸太郎、馬目武
助、○山崎清三、○諸
橋久太郎(教育及社会施設
部) 花澤久一郎、吉田
寅之輔、吉田金作、萩原
義雄、鈴木光吉、緑川登
三郎、○矢野泰次郎、○
大塚原(警備衛生部) 關
内正一、根本品藏、小松
茂、酒井清、馬目雅治、
○大森勇、○堀江正茂、
(産業及資源部) 會川延太つと

合併区域擴張 見

近頃町會から進言

都市計劃の合併區域に關す
員より職金して郡内凶作村
に對する議は、議場一致各
議員二議以上を各團に於て
に決定、その後各團に於て
寄附金の中であつたが、急
に、○矢野泰次郎、○
三郎、○矢野泰次郎、○
大塚原(警備衛生部) 關
内正一、根本品藏、小松
茂、酒井清、馬目雅治、
○大森勇、○堀江正茂、
(産業及資源部) 會川延太つと

臨時や他部動員で 山の賀状を區分

平局昨今の緊張振り

平局賀状は遂に發着二十六日迄の貯金は
萬を突破しその區分は非常
な繁忙を來した今二十七日
の如き區分箱を臨時仕立て
る程で之に備へるため二十
五日から四人を使用して居
る。臨時に八人、庶務電
信等他部から十七人を繰り
出したが尚二十九日からは
臨時に二十人、他部から三
十一人を動員して賀状整理
に防戦する。

現金は動く

昨歳末に較べ

平局の抽出し激増
平局の窓口に見る現金の動
去る二十日以來昨二十
急動騰として提出された

第三女青義金

凶作山村へ送る

先頃開かれた郡聯合第三
部女子青年團總會に於て緊
急動騰として提出された

町内九十四世帯へ 恵みの餅代を配る

一人五十錢宛百十八圓餘

平町の年末貧困救済金は衛生検査は既報の如く去る
既報の如く九十四世帯三百
五十六名、此の金額百十八
圓七十錢に決定、明二十八
日夫々各區長の手を経て配
布されるが一人五十錢の割
割れを配る。保健衛生部
は大喜びである。

神詣り列車

平町で切符賣出し

正月の神詣りのため鐵道
は一月二十五日から二月末
日迄伊勢神宮神詣り遊樂
車券を發賣するが平町から
平一山田一見一奈良一
桃山一京都一名古屋一東
京一平を廻遊し、その金
額は宇治山田への住後十
四圓で、有効期間は十八
日圓、途中下車無制限、
四圓、途中下車無制限、
委員に推薦された

軍需景氣を反映して 常磐炭界の増産

東北地方に於ける石炭の産
量は最近増産の一途を辿り
つあり、仙臺山監督局年と
調査に依る年五萬噸以上を
産出する管内八幡山の十一
月までの産額は百八十二萬
七千四百六十五噸にして昭
和八年中の全産額百七十八
萬二千五百四噸を越え突破
するに至つた、而して十二
月の産額を概に十一月分産
額五分増と推定すれば、
九萬八千四百八十三噸、結
局九年度の全産額は二百二
萬五千九百四十八噸にして
前年に比し二十四萬三千八
百九十九噸(割三分七厘)
の増産を豫想されるに至つ
た、斯かる現象は軍需景氣
に伴ふ一般産業の隆盛に向
ひつてある事實を物語るも
のにして、常磐炭田は頗る
活況を呈してゐる、又は本
年十一月末現在における東
北地方の山元炭産額は三萬
一千五百六十九噸にして八
年度の二萬六千二百五十一
噸に比すれば五千三百八十
噸の増加となつてゐるが、
平泉の金色堂と對比し、考
すれば幾んど該の模倣であ
つても需要の増加するの
が一見して解されるが、彼

入營兵附添

出發日取決定

(横須賀海兵團) 一月九日
郷士の史的時事解説 (二)
郷士の史的時事解説 (二)
郷士の史的時事解説 (二)

白水院の第二回修理

本堂の特別保護建築物に

白水院の特別保護建築物に
本堂の特別保護建築物に
本堂の特別保護建築物に

名刺交換會

出席五百五十名

平町の新年祝賀名刺交換會
は例年の如く來月日午前
一時より警察署に於て開
が出席者は五百五十名であ
ると

平町作反別

平町作反別

平町作反別
平町作反別
平町作反別

磐崎の老爺へ 原審通り二年半

昨日宮城控訴院で判決
友人と飲酒の上日開かれ大和裁判長より
の罪を晴らすために
を晴らすために
を晴らすために

大金を抱えた 新妓二人出奔

久本主人蒼くなる

昨今書入れの花と稱し外出した行方
街から新妓二人異名で、新田仰天方捜索したが内郷村
同十九日(騎兵第二聯隊、工兵第
同十九日(騎兵第二聯隊、工兵第
同十九日(騎兵第二聯隊、工兵第

花街異變

久本主人蒼くなる

久本主人蒼くなる
久本主人蒼くなる
久本主人蒼くなる

給水料値上

警城炭

給水料値上
給水料値上
給水料値上

平町作反別

平町作反別

平町作反別
平町作反別
平町作反別

磐崎の老爺へ 原審通り二年半

昨日宮城控訴院で判決
友人と飲酒の上日開かれ大和裁判長より
の罪を晴らすために
を晴らすために
を晴らすために

大金を抱えた 新妓二人出奔

久本主人蒼くなる

久本主人蒼くなる
久本主人蒼くなる
久本主人蒼くなる

花街異變

久本主人蒼くなる

久本主人蒼くなる
久本主人蒼くなる
久本主人蒼くなる

陽明

胃腸病科
皮膚科
泌尿科
花柳病科
注射科

磐城共済病院

内科
外科
小兒科
婦産科
皮膚泌尿科
花柳病科
衛生試験所

大和田醫院

内科
外科
小兒科
婦産科
皮膚泌尿科
花柳病科
衛生試験所

川井内科診療所

内科
外科
小兒科
婦産科
皮膚泌尿科
花柳病科
衛生試験所